

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	240人
-----	------------	----	-----	---------------	-----	------	------

求 め る 生 徒 像

本校は、21世紀を担う人物の育成という観点に立ち、「知性の伸長」、「人格の尊重」、「心身の健康」を教育目標に掲げ、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。

本校普通科では、基礎学力を養成するとともに、教科で学んだことを応用した課題の発見と解決について探究的・協働的に学び、研究成果の発表や発信を行うことで、表現力やコミュニケーション力を磨き、広い視野をもって社会や国家に貢献できる人物の育成に努めています。

そこで、普通科では次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好で、その成果が優秀である生徒
- 3 自己の進路実現のために学習に真剣に取り組む、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動、生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4の全てに当てはまる生徒を重視します。

第 一 次 募 集 (選 抜 方 法 等)

選抜順序	特色選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	災害科学科	災害科学科	なし
共 通 選 抜		144人 (募集定員の60%)	
学力検査:調査書	6 : 4		
<small>学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」</small>			
特 色 選 抜		96人 (募集定員の40%)	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……得点を1.0倍にする 合計 695点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する96人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

第 二 次 募 集 (選 抜 方 法 等)

I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 3段階評価(A~C) 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	面接・実技・作文 I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 志望動機, 中学校での活動状況など 4 観点 態度, 表現力等
---	--

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	災害科学科	募集定員	40人
-----	------------	----	-----	---------------	-------	------	-----

求 め る 生 徒 像

本校は、21世紀を担う人物の育成という観点に立ち、「知性の伸長」、「人格の尊重」、「心身の健康」を教育目標に掲げ、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。

本校災害科学科では、基礎学力を養い、自然災害や自然環境及び防災・減災、災害に強い社会づくりについての学びを深め、防災・減災を主とした課題の発見と解決について探究的・協働的に学び、研究成果の発表や発信を行うことで、表現力やコミュニケーション力を磨き、広い視野をもって社会や国家に貢献できる人物の育成に努めています。

そこで、災害科学科では次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり、特に数学・理科の成績に秀でている生徒
- 3 本学科への志望動機が明確であり、入学後も上級学校への進学を視野に入れつつ、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮するとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4の全てに当てはまる生徒を重視します。

第 一 次 募 集 (選 抜 方 法 等)

選抜順序	特色選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		普通科	面接
共 通 選 抜		24人 (募集定員の60%)	I 面接 1 形態 集団面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) その他 4 観点 (1) 志望動機の明確さ (2) 表現力等 ※面接については、1日目に実施する。
学力検査:調査書		6 : 4	
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
	特 色 選 抜	16人 (募集定員の40%)	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭… 全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 600点 ・ 国語, 社会, 英語… 得点を1.0倍にする ・ 数学, 理科… 得点を1.5倍にする 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 795点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

第 二 次 募 集 (選 抜 方 法 等)

I 配点		面接・実技・作文
1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 …… 全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭… 全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 495点 II 選抜方法 上記 I を基に、総合的に審査し、選抜する。		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集の内容に加えて中学校での活動状況等も聞く 4 観点 第一次募集と同じ